



グルモール

第9号

JAPANESE SCHOOL NEW DELHI 2025

令和7年12月24日(水)

今年のご協力、ありがとうございました

校長 尾後貫 智

ニューデリーにも本格的な冬が訪れました。大気汚染のため、残念ながら子どもたちが外に出て元気に遊べない日が続いています。AQI（空気質指数）の高い日の休み時間は、学年ごとにローテーションを組んで体育館で遊んだり、図書室で本を借りて読んだり、教室で友だちと楽しく過ごしたりしています。

12月10日は、G7生徒が職場体験を実施しました。昨年よりG7の新たな取り組みとして始まった職場体験ですが、働くことの楽しさや大変さを肌で感じることで、今の自分の立ち位置を自覚して、学びへのモチベーションも向上したのではないのでしょうか。生徒を受け入れてくださった日本の企業の皆さん、また当日生徒を送迎くださいました保護者の皆様のご協力が無事に終了することができました。大変ありがとうございました。

また12、13日と授業参観を行いました。後期に入って2ヶ月経ちました。子どもたちの教室での様子はいかがでしたでしょうか。私は担任をしていたころから、「教室の空気の密度」をいつも肌で感じるようにしていました。教室が「シーンとしている」のにも2種類あります。冷たい静寂：退屈、思考停止、やらされ感。熱い静寂：全員が「授業のゾーン」に入って集中している状態で、鉛筆の音しかしません。この「教室の空気の味」を感じて、授業のアクセルを踏むか、ブレーキをかけるか即断して、変幻自在に授業を子どもたちに合わせて引き込んでいきました。これが「教室のライブ感」だと思います。教室の中での子どもたちのつぶやきやノイズは、AIには拾うことができません。これはAIではない生身の人間教師だからこそできる強みだと思います。またAIには結果を分析することはできても「予感」することはできません。子どもたちの反応をさぐりながら、子どもたちをよりよい方向へ進めていくことは人間にしかできない強みではないか、そのようなことを考えながら、私は教室を巡回しました。

次に後期の学校アンケートを実施させていただきました。今回も保護者の皆様からたくさんの激励や感謝の言葉をいただきました。ありがとうございました。またその中で心配事やご意見もいただくことができました。私も2人の子どもの親の立場で学校アンケートを提出したことがありますので、いただいた保護者の皆様からのコメントについては、その文言の下にある保護者の皆様の「思い」や「願い」といった心の機微を受けとめて学校運営に当たれるようにしていかななくてはならないと思っています。そのためにいただいたご意見をすべての全職員で共有し、子どもたちの学校生活がよりよいものになっていくよう、今後も努力していきたいと思っています。ご回答ありがとうございました。

最後に明日から冬休みを迎え、いよいよ年の瀬が迫って参りました。1年間の学校の教育活動への保護者の皆様のご理解・ご協力に感謝申し上げます。来たる令和8年も、このインドの地でがんばる日本の子どもたちのために職員一同努力してまいります。ご家族揃って輝かしい新年をお迎えください。

新校舎建設の状況について(お知らせ)

4月から旧校舎の解体作業が始まり、5月中旬ころには更地になり、これからいよいよ新校舎建設が始まるものと期待していましたが、デリー政府の建設許可がなかなか下りず、解体工事を終えた段階のままで12月を迎えています。以下、新校舎建設の状況についてお知らせします。

まず森林局から指摘を受けた事項として、(6月～8月)

学校のあるエリアは開発禁止になっているというものでした。当局の保護森林図で確認したところ、校庭の端一部が建て替え禁止になっているだけで、旧校舎を建て替える部分は該当エリアになっていないことを複数回にわたって森林局まで赴いて説明しました。これには日本大使館の方も同行していただき、最終的に許可を取り付けることができました。

次にデリー役所(MCD)から、建設許可を取るために設計変更を求められました。(9月～12月)

- ① 緊急車両が校内に侵入できるよう、校舎を囲んで周回道路を作ること
- ② 幼稚園の階層は地下室と見なすため、新たな設備が必要
- ③ 教室の出入り口の扉のスライド式は日本では認められているが、インドでは法的に不可

これら1つ1つを検討し、①は設計変更、②については申請中に担当官が変わったため指摘事項が撤回になりました。③の教室のドアは子どもの日常利用における安全性を考えてスライド式を交渉しましたが、非常時の避難を考慮して、避難用の開き扉を追加しました。日本国内同様のスライド式を交渉しましたが、非常時の避難の場合を想定して避難用の開閉扉を追加することにしました。

またそれと同時に学校側と建設会社の間で2週間に1度ミーティングを開いて、校舎の細部の設計についての確認や使用材質(床や壁材など)や色の検討、避難経路など安全面からの検討などを行ってきました。また学校は新校舎のIT会社と協議し、子どもたちの教育のためICT環境整備に向けて安定したネットワークの構築やセキュリティの高い新サーバーの検討を進めてきました。さらに校内の防犯システム会社と、防犯カメラの新規取り付け位置を検討し、できる限り校内の死角がなくなる配置を考え、子どもたちの安全を見守るシステムを検討し、導入する予定です。

最後に毎年冬に発生する大気汚染対策の新対応の検討を大使館よりご助言いただき、空気清浄機だけでなく、新たな空調システムを導入することになりました。これは日本のコンビニのように校内の空気圧を外部より高めて、扉の開閉の際、空気が室内から外へ自然に流れるようにして、外部からの汚れた空気の侵入を防ぐものです。

以上、これまで時間がかかりましたが、役所からの指摘事項を1つ1つ検討し、一部設計変更や日本大使館の協力を得て早期に許可が下りるよう複数回にわたり、役所へ足を運んできました。その結果、12月19日(金)に念願の新校舎建設許可を取得することができました。建設会社からは令和8年10月の完成を目指して建設を急ピッチで進めると報告を受けています。

AQIサンプリング 12月12日～12月16日

	アメリカ大使館発表		校舎外	2階		3階		4階	
	AM 6:00	AM 11:00		廊下	教室	廊下	教室	廊下	教室
12月12日	451	375	265	145	65	158	41	169	72
12月13日	620	506	434	160	96	191	64	185	93
12月16日	406	320	208	137	34	148	28	146	48
平均	492.3	400.3	302.3	147.3	65.0	165.7	44.3	166.7	71.0

校内各場所のその日の数値は9:00、11:00、14:00の時点での計測値の平均値

12月12日、13日は授業参観だったため、外気の流入が多かったため数値が高めになった



12月のトピック



児童生徒会主催イベント ～雑巾がけリレー・お弁当パーティ～

8日(月) 楽しみながら、運動がてら、みんなで学校きれいにしよう！と全校児童生徒で体育館の床を雑巾がけしました。日頃の掃除担当場所チームに分かれ、リレー方式で早く拭き終わったところが勝ち！優勝は「図工・多目的室」チームでした。

18日(木) 学年交流を目的として、いろいろな学年・組がまじりあい、教員も参加してお弁当を食べる企画でした。今まで接点がなかったのではじめは黙食でしたが、食後のじゃんけん列車などのレクリエーションで親睦をはかりました。



G7 キャリア学習 ～ 職場体験 ～

10日(水) 昨年度から始まった職場体験学習。今年度もデリ一近郊の日系企業様のご協力で実現できました。学校や家庭では学べない、社会人の入口を少し体験させていただき、緊張の中にも充実感をもって学習させていただいたようです。参観日にまとめを報告しました。引き受けていただいた事業所の皆様に感謝です。



ご来校ありがとうございました！ ～授業参観～

12日(金)・13日(土) 保護者の皆さんに授業の様子をご覧いただく授業参観日でした。発表や発言の場面で日頃の子どもの頑張る姿を見ていただけたでしょうか。



こんなことをやっています ～ゲストティーチャー・教師による読み聞かせ・日本とつなぐ授業～

※「外部環境が原因で努力できない人を0に！」のモットーでCSR活動されている「結び手」代表の方からお話を聞きました。カースト制度、性別、職業などで差別や困窮の中にいるインドの人たちを支える活動について聞きました。

※読書推進活動の「読書旬間」の取組で、教員が各クラスに赴き、朝活動の時間を使って読み聞かせを行いました。

※中学部英語の授業で、日本の中学校とリモートでつないでお互いを英語で紹介し合う取組を行いました。

<児童生徒数> ※12月24日現在 スーリヤ生の数は交流学級に計上しています

	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	スーリヤ	計
男子	4	15	15	20	20	14	12	17	12	(5)	129
女子	23	17	18	12	14	25	11	12	13	(2)	145
計	27	32	33	32	34	39	23	29	25	(7)	274